



主な内容

3月定例会の概要	2・3ページ
代表・一般質問の概要	4~12ページ
議案等の各議員表決	13~14ページ
常任委員会審査Q & A, 特別委員会報告	14~16ページ
高校生議会	16~17ページ
新型コロナウイルス感染症関連情報	18ページ

大野市議会では、ホームページでも議会日程や議案等の審議経過及び結果、会議録などの議会情報を掲載しています。ぜひ閲覧してください。



発行：大野市議会

〒912-8666 福井県大野市天神町1-1
Tel 0779-64-4830 Fax 0779-65-3021
<http://www.city.ono.fukui.jp/>

編集：議会だより編集委員会

3月定例会の概要

第417回定例会市議会が3月2日から24日までの23日間の会期で開催されました。
 今回の定例会では、令和2年度の各会計予算案、令和元年度各会計補正予算案、条例の制定・改廃、人事案件など全26議案のほか、陳情5件（継続分3件含む）について審議しました。審議結果は、13／14議のとおりです。

副議長に堀田氏

定例会初日に副議長の選挙を行い、堀田昭一氏を選出しました。

また、議会運営委員会と各常任委員会の委員を改選し、前委員の辞任に伴う各特別委員会の委員の補充を行いました。
 なお、議会運営委員会及び各委員会の構成は下表のとおりです。



堀田 昭一氏
 (第56代副議長)

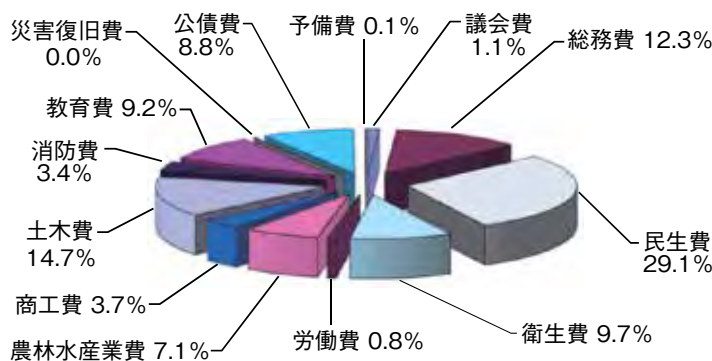
副議長決まる

議会運営委員会及び各委員会の構成

議会運営委員会	常任委員会			特別委員会	
	総務文教	産経建設	民生環境	未来へつなぐまちづくり	人口減少対策
◎ 畑中 章男 ○ 川端 義秀 林 順和 高田 育昌 松田 元栄 榮 正夫	◎ 高田 育昌 ○ 廣田 憲徳 廣瀬 浩司 梅林 厚子 畑中 章男 榮 正夫	◎ 高岡 和行 ○ 林 順和 ダニエル益資 伊東由起恵 松田 元栄 川端 義秀	◎ 永田 正幸 ○ 白崎 貴之 木戸屋八代実 松本 嘉彦 堀田 昭一 野村 勝人	◎ 川端 義秀 ○ 廣瀬 浩司 木戸屋八代実 白崎 貴之 松本 嘉彦 廣田 憲徳 野村 勝人 畑中 章男	◎ 伊東由起恵 ○ 林 順和 ダニエル益資 堀田 昭一 高田 育昌 永田 正幸 松田 元栄 榮 正夫

令和2年度各会計予算決まる

歳出(目的別)

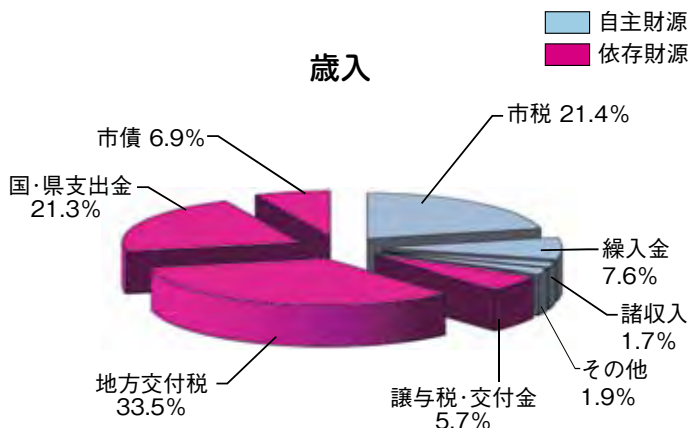


中部縦貫自動車道の県内全線開通や北陸新幹線の敦賀開業という最大のチャンスを生かすため、大野市高速交通アクションプログラムの進展や健康のまちづくりに加え、喫緊の課題である人口減少対策について、効果的な子育て世代への施策を「大野ですくすく子育て応援パッケージ」として取りまとめる。

会計名	予算額	対前年度増減率, %
一般会計	177億6900万円	△2.5
特別会計	83億853万円	△15.8
企業会計	23億5149万円	729.9
総計	284億2902万円	0.2

※特別会計は、国民健康保険事業や介護保険事業など5会計の合計額。企業会計は令和2年度から従来の水道事業に加え、下水道事業、簡易水道事業の3会計の合計額。

歳入





一般会計予算の主な事業

一般会計予算の新規・臨時事業などを、大野市総合計画後期基本計画の四つの柱ごとに紹介します。

人が元気



- 3人っ子給食費助成事業 (小学校) 1566万円 (中学校) 983万円
 - ・第3子以降の給食費を助成
- 大野市学力調査事業 127万円
 - ・市独自で学力調査を実施
小学校1～3年生：2教科
小学校4年生、6年生：4教科
- 家庭育児応援手当支給事業 196万円
 - ・第2子以降で満3歳未満の乳幼児について保育所などを利用せず在宅で育児をしている世帯へ手当を支給 ※9月分から支給 (市独自として所得制限を撤廃)
- 産後ママの家事お手伝い事業 207万円
 - ・産後5カ月までの母親に家事援助や一時預かりのサービスを提供
- 子どもインフルエンザ予防接種助成金 300万円
 - ・1歳から中学3年生までのインフルエンザ任意予防接種費用の一部を助成
- 健康づくり応援事業 595万円
 - ・健康づくりポイント事業の実施
 - ・健康・食守フェスタの開催
- 出産・育児スタート応援事業 2584万円
 - ・母乳外来受診費用を助成
 - ・産後1カ月産婦健診受診費用を助成
 - ・新生児聴覚検査受診費用を助成

産業が元気



- 回遊性強化事業 1003万円
 - ・道の駅発の観光モデルルート紹介マップの作製
 - ・菓子店舗周遊オリジナル菓子箱の作成
 - ・大野ならではの観光体験メニューの開発に対する補助
 - ・大野の食材を使った新メニューなどの開発
- インバウンド誘客促進事業 605万円
 - ・外国人観光客対応講座の開催
 - ・多言語対応環境 (店舗表示・メニュー表示) の整備に対する補助
- サトイモ生産緊急対策事業補助 416万円
 - ・サトイモ病害の予防対策として農薬の購入費用や薬剤の散布作業費用を補助
- 林業従事者育成支援事業補助 560万円
 - ・林業退職者共済掛金を補助
 - ・「緑の雇用」を受講する新規就労者を雇用する林業事業体への補助
- 林業遺産伝承事業補助 103万円
 - ・オウレン栽培に適した森林整備にかかる費用を補助
 - ・オウレンの生産維持や技術の習得などにかかる費用を補助
- 森の再生支援事業補助 220万円
 - ・自治会などが自ら行う作業道の整備、機能強化に対する補助

自然が元気



- 本願清水イトヨ生息地等環境整備事業 1259万円
 - ・生息池周辺の環境整備 (ヘドロ除去・護岸補強など)

行財政改革



- 第六次大野市総合計画策定事業 501万円
 - ・第六次大野市総合計画の策定に要する経費
- 国勢調査経費 1475万円
- ICT利活用推進事業 250万円
 - ・庁内事務 (2事業) へのRPA導入に要する経費 ※RPA：ソフトウェアロボットによる業務自動化

その他の主な議案

- ▼令和元年度一般会計予算に4億3374万円を追加 (補正予算)
 - 令和元年度の一般会計予算に4億3374万円が追加され、予算の累計が192億8803万円となりました。
 - GIGAスクール構想の実現に向けた各小中学校でのネットワーク設備工事に係る経費1億8121万円のほか、国の補正予算に伴う事業費の増額や各事務事業の額の確定に伴う増減、財政調整基金をはじめとした各基金への積立金の増額などの補正がなされました。
 - ※GIGAスクール構想児童生徒に一人一台のパソコン端末と大容量の通信環境を整備するもの
- ▼大野市附属機関の設置に関する条例の制定
 - 大野市における各執行機関の附属機関 (審議会や協議会、運営委員会など) とその任務を規定する条例が制定されました。
- ▼大野市教育振興基金設置条例の一部を改正
 - 学校教育の振興を図るための寄付を受け、基金に学校教育振興基金 (天谷基金) が追加されました。
- ▼大野市水道給水条例の一部を改正
 - 指定給水装置工事業業者の指定や更新にかかる手数料が1万円に改正されました。
- ▼大野市史編さん委員会設置条例の廃止
 - 大野市史編さん業務が完了したため、大野市史編さん委員会設置条例が廃止されました。
- ▼字の区域の変更について
 - 地籍調査事業の結果、阿難祖地頭方地区の一部の字の区域を変更しました。

令和2年度当初予算の策定に当たり 重要視したことは



新風会・公明

高田 育昌 議員



代表質問

全庁的な視点に立ち、事業の選択と構築を徹底

問 第五次大野市総合計画の最終年として、掲げた目標数値の達成見込みと、第六次大野市総合計画の策定に向けたスケジュール、審議会での議論の現状は。

答 平成30年度末時点で、成果指標94項目のうち32項目を達成した。施策効果を期待して高い目標を設定したものや、事業効果を検証し、内容を途中で見直したものなど、達成が困難な指標もある。

問 第五次大野市総合計画の堅持を図っているか。起債と償還の考え方は。

答 全庁的な視点に立ち事業の選択と構築を徹底した。社会保障関係費など必要な予算を確保した上で、大野市高速交通アキションプログラムの推進、健康のまちづくりの実践、大野ですくすく子育て応援パッケージの各施策に重点的に取り組む。簡素で効率的な行政運営を念頭に置き経費の削減に努め、財政調整基金からの繰入金などを抑制した。今後も市債の借入額をできる限り抑えていく。

問 小中学校再編計画の見直しについて、令和2年度に41回開催した意見交換会の結果はどのようか。小・中学校の課題をどう捉えているか。

答 参加者へのアンケート調査結果を報告書として取りまとめる。(仮称)大野市小中学校再編計画検討委員会を設置し、令和2年度末をめどに再編計画案を作成していく。

問 一年延長された第三次大野市環境基本計画の改訂状況とSDGsの取り入れ方を伺う。

答 国、県の計画を踏まえた上で、令和12年を見据えてSDGsのゴールやターゲットを意識し、気候変動適応の推進、環境型社会の推進、自然との共生、生活環境の保全、環境教育等について、大野市環境保全対策審議会にて審議していく。

問 越前おおのブランド戦略に掲げる、観光消費額増加に向けた取り組み状況は。

答 観光消費額の増加には、滞在時間を延ばすことが効果的である。回遊を楽しむ仕掛けを増やし、市内での宿泊や飲食につながるよう取り組んでいる。令和2年度は、道の駅から市内への回遊を促し、大野市で長く楽しめる仕掛けを増やしていく。

問 湧水地の復活と健全な水循環の10年・20年後をどう描くか。また地下水の持続可能な保全と利用に対し、どうマネジメントするのか。

答 越前おおの湧水文化再生計画を平成23年度に策定し、地下水保全に市全体で取り組んでいる。現在、(仮称)越前おおの水循環・湧水文化再生計画の策定を進めている。地下水の保全と利用の調和を目指し、具体的な目標数値を定め、達成できるようにマネジメントに努めていく。



32年前のこせき清水



水が湧きなくなった現在



泉町にある「こせき清水」の今と昔

大野市高速交通アクションプログラムの推進について、令和2年度の取り組みは



清風会

かわばた
川端

よしひで
義秀 議員



中部縦貫自動車道の県内全線開通、道の駅オープンに向けて要望や工事を進める

問 大野市高速交通アクションプログラムの推進について、令和2年度にはどのように取り組むのか。



現在の中部縦貫自動車道和泉IC(仮称)

答 中部縦貫自動車道の一日も早い県内全線開通に向けて、引き続き要望活動に積極的に取り組む。道の駅越前おおの荒島の郷(さと)の整備についても令和3年度早期のオープンに向け、着実に工事を進めていく。

大野市道の駅産直の会においても新たな商品づくりや商品開発に支援し、魅力ある商品ラインナップの充実を図る。また、令和2年度は道の駅越前おおの荒島の郷開駅の前年となるので、これまで以上に中京と北陸エリアを中心にPRを行う。

問 大野ですくすく子育て応援パッケージについて、まとめた経緯とその内容について尋ねる。

答 若い世代に大野に住み続けてもらうには、今後も結婚、出産、子育てを直接的に支援する取り組みのほか、大野で住み続けるための働く場の確保、地域による子育て世代へのサポートなど、総合的な取り組みが必要と考えている。こうした観点から大野の若者が、大野で結婚し、

大野に住み続けてもらえよう若者の心に届くようなメッセージとして、大野ですくすく子育て応援パッケージを打ち出した。

このパッケージは、子どもの成長過程に沿って示し、若い世代を応援する施策をそろえることで、若者に大野に住み続けたいと思ってもらえるよう、若者や保護者に寄り添ったものとなるよう施策の一つ一つに思いを込めた。

若い世代の定住につながることを願うとともに、本市の人口減少対策につながることを期待している。



大野ですくすく子育て応援パッケージ

問 本市の農業は、従事者の高齢化が進み継承者不足にも悩まされている。また国のコメの生産数量目標の配分やコメの直接支払交付金が廃止され、県内10JAが一斉合併するなど大野市の農業を取り巻く情勢も変化している。そのような状況での今後の農業行政についての市長の考えは。

答 地域の实情に合った新たな人・農地プランの作成に向けて取り組むほか、農業者の経営体質の強化により農業経営の安定化を図るため、国や県の補助を活用し、担い手や集落営農組織等が取り組む規模拡大や経営改善等に支援する。

また、園芸作物の生産振興により農家所得の向上を図るため、園芸作物の生産促進への取り組みを支援し、生産者の確保と維持、拡大に努める。特に道の駅越前おおの荒島の郷の令和3年度早期の開駅を見据え、大野市道の駅産直の会には、引き続き栽培講座の開催

や園芸作物への取り組みに支援していく。

4月から県内10JAが一つとなり発足する福井県農業協同組合、JA福井県は本店の下、県内七カ所に基幹支店が設置され、テラル越前農業協同組合の本店も奥越地区の基幹支店となると伺っている。

今後も、国や県の農政の動向を注視しながら、安全・安心で良質な農産物の生産を促し、ブランド力を高め、国や県、JAなどの関係機関・団体と連携を図りながら、越前おおの型農業を推進していく。



道の駅産直の会の研修会

乾側小学校の再編は、今後どうなるのか



新風会・公明
ひろせ 浩司
議員



乾側地区の意見がまとまれば、 最短で令和3年の4月に可能となる

問 12月議会以降の乾側地区への対応は。

答 乾側小学校の在校生や未就学児の保護者にアンケート調査を行ったところ、先行再編希望の回答が8割強であった。

問 アンケート結果を受け、乾側小学校の先行再編はいつと考えているのか。

答 乾側地区の意見がまとまれば、先行再編先の学校と交流期間を設けて、最短で令和3年の4月に可能となる。现阶段では未定。

問 令和2年度に実施を予定している小中学生に対する新たな取り組みは。

答 ①高速大容量の校内ネットワークの整備
②(仮称)大野市小中学校再編計画検討委員会を設置し、令和2年度末をめどに再編計画案を作成
③特別教室へのエアコン

設置推進

④夏休み中の小学生を対象に図書館での宿題支援、中学生には公民館を開放し自主学習支援
⑤第3子以降の給食費の全額助成

⑥インフルエンザ予防接種の千円助成
●終了するもの
みこしダンスパフォーマンス、ふるさと学習交流会

問 「道の駅越前おおの荒島の郷(さと)」の進捗(しんちよく)状況はどうか。

答 令和3年度早期の開駅に向けて、工事を進めている。モンベルとは施設運営体制やサイクリングコースの設定などについて引き続き協議していく。産直の会に対しては、視察研修や栽培技術のレベルアップ講座を開催するなど、魅力ある商品づくりや商品開発に向けて支援していきたい。

一般質問

不登校の長期化を防ぐための支援は



新風会・公明
いとう ゆき
伊東由起恵
議員



適応指導教室の指導員をはじめ、スクールソーシャルワーカーなどを配置し支援している

問 地域の拠点となる公民館に行政と地域を結びコーディネートを設置してはどうか。

答 今後も公民館職員が適切に対応し、コーディネートできるよう、公民館相互のスキルの共有や研修による職員のスキルアップに努める。

問 地域の各種団体やボランティアが自由に集える環境づくりも重要と考えるがどうか。

答 庁内で検討を進める予定だが、ボランティアをはじめ地域の力が集まり、地域の力を結集できる公民館となるよう努めていく。

問 地域のそれぞれの団体の現状や要望を聴いたり、公民館長を中心に意見交換を行ったりするよくな場は設けられているのか。

答 現在、各種団体の連絡調整は行っている。限られた団体以外にも広く

声を聴けるような体制を検討したい。

問 不登校の児童、生徒とその保護者の思いや将来に対する不安などを把握するための実態調査は行われているのか。

答 毎月、全ての学校から不登校状況シートの提出を求めている。状況により、教育委員会が家庭や学校と共に、対応について相談することもある。

問 不登校の長期化を防ぐために、どのような支援をしているのか。

答 適応指導教室の指導員をはじめ、スクールソーシャルワーカーなどを配置し支援している。

問 不登校の未然防止に向けた取り組みは。

答 令和2年度と3年度の2年間、国立教育政策研究所の魅力ある学校づくり調査研究事業の採択を受け、市全体で取り組む。

和泉地区の観光資源を生かす上での取り組みは



新風会・公明

まつもと
松本 嘉彦
よしひこ
議員



越美北線九頭竜湖駅と長良川鉄道越美南線美濃白鳥駅間を貸し切りバスでつなぐ試験運行を実施する

問 暖冬による建設業界への影響をサポートするために、どのような施策を実施しているのか。

答 除雪業者の資金繰りのために、例年3月末に支払っている固定費の後期分を2月中旬に支払った。また、令和2年度当初予算を前倒して、交通安全対策や道路整備工事のうち、早期着工が可能な箇所の事業費を補正予算として計上した。

その他、市内金融機関と連携し、制度融資の要件を緩和するなど、対前年比の売り上げが大きく落ち込んでいる企業が運転資金の融資を受けやすくする。借入企業が負担する信用保証料の一部を補給する。



防雪基地の中の除雪車

問 和泉地区の観光資源を生かす上で、二次交通の果たす役割が大きいと思うが、本市での取り組みについて伺う。

答 越美北線沿線の見どころを楽しんでもらう新たな周遊ルートの開拓と中京圏からの誘客について検討する。その内容は、越美北線が、福井県から岐阜県までを結ぶ鉄道、越美線として計画されていたことから、越美北線九頭竜湖駅と岐阜県の長良川鉄道越美南線美濃白鳥駅間を貸し切りバスでつなぐ試験運行である。



越美北線

市長はどのようなまちづくりを考えているのか



双葉会

たかおか
高岡 和行
かずゆき
議員



道の駅越前おおの荒島の郷、産業団地、インバウンド環境等の整備を進める

問 市長の政治姿勢について、令和2年度当初予算のどこに行財政改革が反映されているのか。

答 行財政改革は、一朝一夕に進むものではない。市長の考えるまちづくりは、どんなものか。

問 引き続き道の駅越前おおの荒島の郷(さと)、産業団地、インバウンド環境の整備を進める。また、ライフステージに応じた健康づくりや文化会館の整備等に取り組んでいく。

問 令和元年度は基金を10億円取り崩し、2年度は13億7000万円を取り崩すが、そのほとんどが借金返済で、財政力指数を良く見せかけている。本市のビジョンは全てが建物。市商工会議所や市PTA等の補助金はカット。そんな中で、市の事業はどれだけカットするのか。

答 越美北線等利用促進事業の越前おおの食歩歩き見て歩きマップの廃止等を行う。

問 教育長の政治姿勢について、教育長自身が考える学校再編とは。

答 一定規模の確保が大切なので、学校再編は必要であるというのが基本的な姿勢である。

問 小中強化、教育強化と言っているが、小中一貫校は一つも出てこないが、学校再編の中で小中一貫校という考えはないのか。

答 小学校、中学校でしっかりやっていく。

問 子どもを集める、預かるという判断をしたならば、教育委員会又は総合教育会議で、一番末端の状態を協議するべきだと私は考えている。児童クラブ等でのアルコール消毒液、マスク、その他コロナ対策に万全を期しているのか。

答 消毒液については、現在、手薄になっている。マスクについては、各自で用意してもらっている。

大野市10年ビジョンを作らないのか



未来おおの
松田 元栄 議員
まつた もとえ



第六次大野市総合計画が10年計画であるため 考えていない

問 第六次大野市総合計画基本構想案の中に、基本方針や基本理念を設けないのか。

答 基本目標を基本方針とする自治体もあるなど、自治体によりその表し方に違いはある。将来の姿を描き、それに向かって目標や各施策を立てるといふ体系は共通している。なので、新たには設けない。

問 大野市10年ビジョンを作り、未来の夢に向かって市民とともに歩むことを考えないか。

答 第六次大野市総合計画は、SDGsの考え方を取り入れて持続可能なまちづくりを市民と一緒に作り上げることとしている。また、「みんなが大野を好きになる、未来へつなぐまちづくり」に沿って、市民と行政が一緒に作り上げる10年間の総合計画であるから、そのような策定は考えていない。

問 これまでの行財政改革の成果と課題は何か。

答 時間を費やす定型・大量処理業務の軽減を図るため、ロボティック・プロセス・オートメーションの導入の検証に着手し、処理可能な業務を洗い出し、その効果を見極める。また、各種団体への補助金は、公益性、有効性、公平性などの観点で検証を行い、団体と協議し、廃止も含めて当初予算に反映している。

問 (一財)越前おおの農林楽舎、(株)平成大野屋、(株)昇竜は法人、会社組織であり、副市長はそれぞれ理事長や代表取締役である。民営化を進めてはどうか。

答 営利目的ではなく、それぞれの法人の目的に準じてさまざまな事業を行うものである。黒字経営に努め、将来的には民間として独り立ちができればと考えている。

一般質問

新型コロナウイルス感染症の難局を乗り切るために 市としてどのような考えを持っているのか



未来おおの
木戸屋八代実 議員
きど やよ



市民の不安を払えるように尽くしていく

問 新型コロナウイルス感染症対策について、災害用備蓄品のマスクはどれだけあるのか。

答 使い捨てマスクを4500枚備蓄している。

問 今後、介護施設等のマスクが不足したときに、提供する考えはあるのか。

答 窓口や休日急患診療所などでの使用を予定しているが、今後、社会福祉施設等への提供も考えたい。

問 感染者が出ていない今だからこそ、早め早めの対応と工夫で効果を出すこともある。市長を本部長とする対策本部を中心に、新型コロナウイルス感染症というこの難局を乗り切ってほしいと切望するが、どのような考えを持っているのか。

答 市として、適切に情報発信しながら、感染予防対策、拡大防止対策をしていきたいと考えている。

問 新型コロナウイルス。市民が抱えている不安を払えるように尽くしていく。

問 学校再編計画の見直しについて、令和2年度に設置する検討委員会の構成、検討内容、スケジュールを知りたい。

答 検討委員会は、男女比、年齢比などを考慮して公募2人を含む15人以上で構成する。小中学校の校数や再編時期、再編の方法、通学方法、放課後の子どもの居場所づくりなどについて検討するため、5月下旬から10回程度開催する予定である。

問 検討委員会は傍聴できるのか。会議録の公開をしていくのか。

答 委員会では傍聴でき、傍聴可能にしていきたいと考えている。会議録は、個人情報など公開できない部分を除き、概要という形でその都度示していきたい。

大野市高速交通アクションプログラムに取り組んで見えてきた課題は

人や物流の拡大が見込まれる機会を逃すことなく、持続可能な地域づくりを進める



清風会

ながた まさゆき
永田 正幸 議員



問 大野市高速交通アクションプログラムの取り組みにより見えてきた課題は。

答 中部縦貫自動車道の県内全線開通といった人の交流や物流の拡大が見込まれるこの機会を逃すことなく、持続可能な地域づくりを進める。

問 観光客の回遊性強化と交流人口の取り込みなど戦略的な観光の推進は。

答 戦略的な観光の推進には他市町との連携も重要なため、勝山市、永平寺町と協力して広域観光を進め、三市町の道と鉄道の駅を結ぶ広域サイクリングルート設定し、ジャパンエコトラック推進協議会の認定登録を目指す。

また、県が進める恐竜

博物館の拡充による観光客増加を見込み、周遊パスの試験運行を検討している。

問 人口減少・少子高齢化が進む自治会の活動低下が見受けられるが、自治会の維持に向けた取り組みは。

答 区長連合会などと連携し、協議しながら、自治会の先進事例を学ぶなど、自治会活動の活性化に取り組む。

問 今冬の雪不足と暖冬による中小企業への影響とその対応は。

答 建設業者などの経営への影響が懸念される。そのような状況から、新年度当初予算を前倒して、交通安全対策や道路整備工事に係る費用等を3月補正予算案として計上し、切れ目ない工事発注を行うこととした。

本市の少子化に対する課題は

人口減少を県内各市と比較すると、特に、20歳から39歳までの女性の減少が顕著である



清風会

ひろた かずのり
廣田 憲徳 議員



問 本市の少子化に対する課題と政策について聞きたい。

答 急速に進む少子化の要因としては、婚姻率の低下や晩婚化の進行もあるが、一番大きな要因は、子どもを産む主な年代である20歳から39歳までの女性の減少にあると考えている。

新しく打ち出す、大野ですくすく子育て応援パッケージでは、医療費助成の対象を県内の大学に通学する20歳までの学生に拡大し、所得制限なく第2子以降の保育料を免除するほか、働く人にやさしい企業応援事業を拡充するなど、結婚、出産、子育てをする若者世代を応援する施策をそろえた。

子育て世代に対する子育て支援と、働く場の確保を力強く推進し、大野に住み、大野で結婚し、大野で子育てしたいと思う若者が増加すれば、子

どもの数も増え、本市の人口減少対策につながるものと期待している。

問 4月1日より県下10JAが合併し、JA福井県となるが、市とJAの関係はどうなるのか。

答 合併により新たにJA福井県となり、現在のテラル越前農業協同組合は奥越基幹支店となるが、これまでと同様に連携を密にし、本市の農業振興の推進に取り組んでいきたい。合併後の組織体制は、福井市にJA福井県の本店を設置し、県内7カ所に基幹支店を配置。現在のテラル越前農業協同組合本店は、奥越地区の基幹支店となり、支店と出張所も今までと同様とのことである。



大野ですくすく子育て応援パッケージ

一般質問

サトイモ生産緊急対策事業補助とは



新風会・公明
しらさき たかゆき
白崎 貴之 議員



種芋の消毒に使用する農薬などの購入費用や薬剤の散布作業経費の一部を支援するものである

- 問** 令和2年度も雪が降らなかつたが、農業に与える影響と対策は。
- 答** コメの品質に影響を与えるカメムシの多発が危惧される。県やJAと連携し、カメムシの生息場所となる畦畔(けいはん)の一斉除草作業や、農薬による一斉防除作業の徹底などの周知を図る。
- 問** サトイモ生産緊急対策事業補助とは。
- 答** 病害の防除対策に必要な種芋の消毒に使用する農薬、予防殺菌剤、治療殺菌剤の購入費用の3分の1の支援と、予防と治療に係る薬剤の散布作業経費の一部を支援するものである。
- 問** 地域おこし協力隊の位置付けは。
- 答** 地域外の人材を積極的に誘致し、定住を図ることは、地域を支える人材の確保、地域力の維持、向上にもつながる取り組みであり、地域の活性化に有効な方策と考えている。若者が隊員活動終了後も定住することにより、次世代の地域を担う人材として活躍することが期待される。
- 問** 損害保険ジャパン日本興亜株式会社とのSDGsに関する包括連携協定締結後の進捗(しんちよく)状況は。
- 答** 令和2年度は、意見交換を重ね、互いの理解を深めてきた。
- 問** BCP策定セミナーは、どのようなリスクに備えた計画策定を予定しているのか。
- 答** 中小企業が、国の示した事業継続力強化計画の認定制度に合わせた内容で計画を策定するためのポイントを学ぶものがある。災害発生時の初期段階に対応が取れるよう要点を絞って行う。

一般質問

子どもの居場所づくりに、働く女性の視点を

放課後や長期休業期間中の居場所づくりを、教育委員会と協議する



新風会・公明
はやし よりかず
林 順和 議員



- 問** 子どもの居場所づくりに、働く女性の視点が必要だが、放課後児童クラブと放課後子ども教室の違いは何か。
- 答** 放課後児童クラブは日中に保護者が家庭にいない児童を、放課後子ども教室は全児童を対象としている。放課後子ども教室は祖父母、両親の就業等に関係なく受け入れられているが、放課後児童クラブでは近隣に面倒を見られる祖父母等がいる場合、自由来館での利用をお願いしている。
- 問** 今後、放課後や長期休業期間中の居場所づくりについて、教育委員会とも協議していく。
- 答** 放課後児童クラブと放課後子ども教室には基準の違いがあり「小1の壁」が大きいのが、子育て世代である市長の認識は。
- 問** 小学校に上がり制度が変わることで、自分も面食らった経験があり、入学前の心構えを伝える努力が必要だと思う。
- 答** 子育て支援の現場を担うのは、会計年度任用職員や業務委託が多い。年度ごとの離職や、業務委託の解除といった不安をなくすることが大切だが、令和2年度に改訂する大野市定員適正化計画への反映は。
- 問** 子育て支援を含めた重要施策への対応等を考慮しつつ、厳しい財政状況の中、行政コストの削減を図っていくことを念頭に置き計画を策定したい。
- 問** 大野ですくすく子育て現場への普及、浸透は。
- 答** 新たに作成するパンフレットの設置や保護者に直接伝わるような周知を行っていく。



遊びに熱中する子どもたち
(南部児童センター)

新型コロナウイルス感染症予防対策の臨時休校による関係業者やアルバイト等の補償は



政府が臨時休業に伴う対策を打ち出している

野村 勝人 議員
日本共産党大野市議団

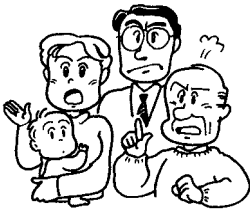


問 新型コロナウイルス感染症対策として政府は、小中学校、高等学校、特別支援学校の一斉休校を要請した。これを受け市内の小中学校が臨時休校となった。給食は中止、スクールバスも運休となり、給食食材の納入業者やスクールバスの運行委託業者には大打撃との声がある。臨時職員の待遇、補償はどうなるのかも疑問である。また、各種イベントの中止で、商店などの関連業者にさまざまな影響が出ている。国の要請により一斉休校に踏み切ったのだが、感染予防のための休校は学校の設置者の権限と定められており、首相や文部科学省の権限ではないと思うがどうか。

答 国が臨時休校を要請した2月28日の時点では、集団感染が起こると爆発的に感染が広がるという状況であった。このため、設置者である市長としては他市や他県の状況も踏まえた上で、臨時休校を決断した。

問 給食食材の納入業者、スクールバスの運行委託業者や商店などにも影響が出ている。補償するという話もあるが、フリーランスやアルバイトの補償がない場合に、市として何か対策が取れないのか。

答 教育行政に関わる事業者について答える。政府が臨時休校に伴う対策を打ち出しているので、市独自の対策は、国がどこまで行うのかを見極めてからの判断になる。



まちなか循環バスは費用対効果が悪いため、廃止してはどうか

まちなか循環バスは、今のところ市民のニーズに合ったものとして考えている



ダニエル 議員
無党派



問 まちなか循環バスは、乗客が少なく費用対効果が悪いため廃止し、あわら市のような市街地でも乗れるオンデマンド型乗り合いタクシーの導入を検討してはどうか。

答 まちなか循環バスは、市街地のような人口密度の高い所を運行しているため、今のところ市民のニーズに合った運行をしているものと捉えている。今後は、ニーズの変化や道の駅開駅も踏まえてバス運行の在り方を協議しなければならないと考えている。

問 昨年の県知事選挙において、不在者投票で不正が行われたとして、本市にある介護施設の理事長が逮捕された。この事件を受けて、市選挙管理委員会は、どのように再発防止に努めていくのか。

答 今回の事案は、外部立会人がいれば防ぐこと

ができたと考えている。今後、各施設に指導を行う際は、県選挙管理委員会と連携して、公正かつ適正な事務執行と、外部立会人による立ち合いを強く要請していく。

問 本市の介護施設でこういった事件が起きたのは、介護施設での投票における脇の甘さがあったのではないか。

答 投票所の在り方について、市民の間で疑義を感じるとの声はない。もし、あれば市選挙管理委員会で調査を行う。不適切であると判断した場合には、投票所を変えることになると思うが、現段階ではその予定はない。



一般質問

人・農地プランの見直しに当たっては、 国連「家族農業の10年」も視野に入れるのか



日本共産党大野市議員
さかえ まさお
榮 正夫 議員



一般質問

家族経営体が本市の農業を支えていると 認識している

問 国連は2019年から2028年までの10年間を国連「家族農業の10年」と定めた。また国の農政の基本計画である食料・農業・農村基本計画の新たな計画が令和2年3月に閣議決定された。本市の人・農地プランを見直すに当たっては、これらのことを考慮するの
答 本市では、1347ある農業経営体のうち、1295経営体が家族経営体である。その経営規模や内容はさまざまだが、農業の多面的機能も果たしており、本市の農業を支えていると認識している。

現在の人・農地プランは、平成21年度に作成された農村集落カルテを移行したものである。農作地を有する全127集落のうち、124集落で99のプランが作成されているが、高齢化など地域の状況も変化しているため、アンケート調査や話し合いを行い、新たにプランを作成する。

問 小中学校再編については、平成16年4月に再編計画が策定され、六呂師・森目・蕨生小学校が廃校となった歴史的事実がある。そのことが市全体に与える影響を把握し、教育とは何かの視点に立った上で、市教委は乾側小学校の再編問題を考えているのか。

答 指摘の点は、理解できるところがたくさんある。乾側という地域から学校が無くなることを大きく受け止めて、この1年半の間考え続けてきた。特に16人の子どもたちに対する気持ちをしっかりと持ちながら取り組んできた。軽々に、近隣の学校と再編すればいいということや、人数が少ないからということを進めてきたものではない。

中部縦貫自動車道 大野IC—和泉IC (仮称) 令和4年度開通予定！

福井県大野市街地から岐阜県境にかけて工事が進む、中部縦貫自動車道、大野油坂道路の「大野IC—和泉IC (仮称)区間」(19.5^{km})が、令和4年度に開通する予定です。これにより大野油坂道路(35^{km})の6割近くが完成します。(表紙写真)

本市議会も理事者とともに中部縦貫自動車道全線開通に向けた要望活動に積極的に取り組んでまいりました。生命の道、生活の道、希望の道である「中部縦貫自動車道」は、子や孫の未来に夢と希望を与えることになると存じます。そのためにも市民の皆さまにはこれまで以上のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

(市議会議長 梅林厚子)

●6月定例会の予定

日程 (案)	区分	審議等の内容
6月1日	月 本会議	議案上程、提案理由説明
8日	月 本会議	一般質問
9日	火 本会議	一般質問、請願・陳情上程
10日	水 委員会	10:00 産経建設常任委員会
11日	木 委員会	10:00 民生環境常任委員会
12日	金 委員会	10:00 総務文教常任委員会
15日	月 委員会	10:00 人口減少対策特別委員会 13:00 未来へつなぐまちづくり特別委員会
18日	水 本会議	各委員長報告、質疑、討論、採決

代表質問・一般質問のページには、各議員ごとの録画映像(外部サイト You Tubeにより配信)へリンクするQRコードを掲載しています。

※予定のため変更になる場合があります。

※本会議の開会はいずれも午前10時を予定していますが、遅れる場合もあります。

詳しくは、議会事務局へ問い合わせください。

(☎0779-64-4830)

令和2年3月第417回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

議案番号・議案名等		議員名（議席番号順）																		
		議決結果	廣瀬浩司	木戸屋八代美	林順和	ダニエル益資	白崎貴之	伊東由起恵	松本嘉彦	廣田憲徳	堀田昭一	高田育昌	野村勝人	梅林厚子	永田正幸	松田元栄	川端義秀	高岡和行	畑中章男	榮正夫
市長提出議案	1 令和2年度大野市一般会計予算案	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
	2 令和2年度大野市国民健康保険事業特別会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 令和2年度大野市和泉診療所事業特別会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 令和2年度大野市後期高齢者医療特別会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5 令和2年度大野市介護保険事業特別会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6 令和2年度大野市農業集落排水事業特別会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7 令和2年度大野市水道事業会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8 令和2年度大野市簡易水道事業会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9 令和2年度大野市下水道事業会計予算案	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
	10 令和元年度大野市一般会計補正予算（第4号）案	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
	11 令和元年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12 令和元年度大野市和泉診療所事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	13 令和元年度大野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14 令和元年度大野市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15 令和元年度大野市下水道事業特別会計補正予算（第2号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	16 大野市附属機関の設置に関する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	17 大野市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	18 大野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	19 大野市教育振興基金設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	20 大野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	21 大野市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	22 大野市水道給水条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	23 大野市史編さん委員会設置条例を廃止する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	24 大野市過疎地域自立促進計画の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
	25 字の区域の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	26 人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案番号・議案名等		議員名（議席番号順）	議決結果	廣瀬浩司	木戸屋八代実	林順和	ダニエル益資	白崎貴之	伊東由起恵	松本嘉彦	廣田憲徳	堀田昭一	高田育昌	野村勝人	梅林厚子	永田正幸	松田元栄	川端義秀	高岡和行	畑中章男	榮正夫
陳情	1	「泉町地区の公共下水道整備工事にかかる詳細設計策定を急がない」ことを求める陳情	採択	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	\	否	賛	否	賛	賛	賛
	2	御清水エリアの湧水汚染の風評被害の防止に関する陳情	趣旨採択	趣	趣	趣	否	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	否	\	趣	趣	趣	否	否
陳情 (継続分)	3	御清水エリアの公共下水道事業の見直しに関する陳情書	不採択	否	否	否	賛	否	否	否	否	否	否	賛	\	否	否	否	否	否	賛
	5	名水百選「御清水」(殿様清水)を残すための陳情	不採択	否	賛	否	賛	否	否	否	否	否	否	賛	\	否	賛	否	賛	賛	賛
	9	関電原発にかかわる不正資金還流の真相究明をもとめる陳情	趣旨採択	趣	趣	趣	否	趣	趣	趣	趣	趣	趣	否	\	趣	趣	趣	否	否	否

議長（梅林厚子氏）は採決に加わらないので「\」で表示。議案に賛成○、反対×。と表示。陳情の願意に賛成「賛」、願意の趣旨又は一部に賛成「趣」、願意を否とする場合「否」ただし、陳情2号、陳情9号についての否は、趣旨採択とすることについての否

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦について

引き続き三足義光氏（花房）を推薦することに同意しました。

常任委員会審査

Q & A

産経建設

（高岡委員長、林副委員長、ダニエル、伊東、松田、川端）

越美北線等利用促進事業について

越美北線利用者にイベント会場などで利用できる買い物補助券を配布するなど、イベントとタイアップして利用促進を図るのであれば、市主催のイベントだけに限らず、あらゆるイベントとの連携が必要である。

水への恩返し事業について

東ティモール民主共和国への水支援は市民からの貴重な寄付により行えたものであるから、その活動を通じて醸成されたものを市民に還元し、健全な水循環のまちづくりにつなげてもらいたい。

◎理事者からの説明

3月22日にオープンする越前おおの水のがっこうを活用した水に関する講座の開催や、本願清水イトヨの里とも連携を図り、これまでの活動の成果を市民に伝えたい。

（越前おおの農林楽舎について）

設立当初の基本理念を今一度、十分に認識し、地元商業の発展、農家所得の向上に努めるべきである。

施設の統廃合について

施設の運営経費の縮減に努めることはもちろん、施設の設置目的や維持管理経費と、入館者数の現状を直視し、施設の統廃合についても検討していくべきである。

中部縦貫自動車道の整備促進について

全体事業費が約800億円増額した実情を踏まえ、事業の進捗（しんちよく）や、今後の見通しを市民に説明する際は、現実を直視した分かりやすい説明に努めること。

将来、インターチェンジの名称は観光マップなどの地図に掲載されるなど市のPRにつながるため、供用開始前の事前周知が大変重要になる。インターチェンジの名称決定に至るプロセスやタイピングについて、適切な情報収集と対応に努めること。

地域交通の利用促進について

路線バスや、まちなか循環バスの運行は採算が取れないことは理解するが、大野市公共交通活性化協議会においても費用対効果の向上に有効なアイデアが出されるよう十分に協議されたい。

御清水エリアの湧水汚染の風評被害の防止に関する

陳情について

本陳情は御清水エリアの湧水について、観光客や、地元の人々による風評被害の防止を求めるもので、趣旨は理解できるが、御清水エリアの湧水だけでなく、市内に点在する全ての湧水地が対象とされるべきであることから賛成多数で趣旨採択と決した。



御清水

民生環境

（永田委員長、白崎副委員長、木戸屋、松本、堀田、野村）

泉町及び清瀧地区における公共下水道事業について

Q 令和2年度に詳細設計を行った後、工事に入ることだが、詳細設計の前に地元との合意を図るべきではないか。

A 住民の方に安心していただくこと、御清水は本市のシンボルであることを念頭に置き、地元との合意形成を図りたい。今後、各区長と相談し、説明会等の開催を検討する。

大野ですくすく子育て応援パッケージについて
Q パッケージを広く知ってもらうため、どのように工夫するのか。
A パンフレット、広報おおの、SNSなどを活用して周知する。

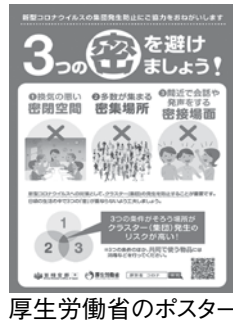
低年齢児の保護者につきかり理解してもらったため保育所などを通じての周知や、母子手帳の交付時などに周知していく。

Q パッケージには良い事業がたくさんあるが、内容を詰め込み過ぎた説明になると、逆に面倒に思われて、伝わらなかったりするのではないか。
A 簡略化して、分かりやすい説明に努める。

新型コロナウイルス感染症について
Q 先般、改正された特

別措置法に基づく、緊急事態宣言が発令された場合の命令権はどうなるのか。

A 緊急事態宣言が発令された場合は、知事が住民に対して、学校や公共施設の使用を制限したり、催し物の中止を指示することができるとの権限を持つこととなり、市長は知事の指示等に基づき、市民への適切な対応を行うことになる。



厚生労働省のポスター

総務文教

(高田委員長、廣田副委員長、廣瀬、梅林、畑中、榮)

文化会館整備基本設計事業について

平成31年度当初予算に計上された委託料の執行に当たっては、当委員会

の承認を得て行うよう決議したことから、これまでに5回に渡って説明を聞いた。

文化会館の整備については、当委員会として協議をさらに深めたい。



大野市文化会館

新型コロナウイルス感染症対策について

県内で感染者が確認されたことを受け、今後、新型コロナウイルス感染症対策には、予算措置など柔軟に対応されたい。

乾側小学校について

乾側小学校児童及び未就学児の保護者を対象にアンケートを実施したとのことだが、真に子どもたちのためにどうあるべ

きかという視点に立ち、再編計画を示されたい。



乾側小学校

関電原発にかかわる不正資金還流の真相究明もとめる陳情について

本陳情は関西電力幹部に3億円を超える金品が高浜町元助役から提供されたことについての全容解明と関係者の処分等を求めるもの。

12月議会では、賛成多数で継続審査と決した。

◎委員会での結果

陳情の趣旨である本件の全容解明と関係者の処分等については第三者委員会が調査報告書を公表し、経済産業省が業務改善命令を出したことなどから賛成多数で趣旨採択と決した。

特別委員会 報告

人口減少対策特別委員会

(伊東委員長、林副委員長、ダニエル、堀田、高田、永田、松田、榮)

令和2年度の議論テーマについて

小学生の子を持つ保護者に対する支援策や、若者の出会いの場や移住につながる方策について議論していくことを決定した。



放課後の子どもの居場所について

小学1、2年生の保護者の、放課後の子どもの居場所の確保に関する不安を取り除くためには、放課後児童クラブと、放課後子ども教室の両方を

ミックスした運用など、児童センターでの子どもの受け入れの在り方について、現場に携わる人の意見を十分に聞き、前向きに検討してもらいたい。

夏休み期間中の取り組みについて

小学生を対象とした、図書館での夏休みの宿題支援や、夏休み子どもチャレンジ教室の開催などの取り組みは、夏休み期間中の子どもの居場所の確保に苦慮している保護者のニーズに応えられるような仕組みとされたい。中学生を対象とした、学習場所としての公民館の開放については、居住地区の子どもに限定せず、また、飲食を可能にするなどの柔軟な運用を行い、地域の人材や、これまでの地域のつながりを活用した仕組みとされたい。

スポーツを取り巻く環境について

少子化によりスポーツ少年団の活動が成り立たなかったり、中学校の団体競技の部活動が成り立

たなくなっている課題を解決するためには、5年後、10年後を見据えたスポーツ活動の在り方を検討すべきである。

また、そのことが大野型のスポーツの推進につながり、大野の魅力向上や地方創生にも寄与できる。

保護者への情報発信について

夏休み期間中の各種事業の参加者募集に当たっては、担当課がそれぞれに情報発信するのではなく、情報を集約し、市として一元的に情報発信すること。

6月定例会での議論について

夏休み期間中の子どもの居場所づくりや、若者の出会いの場創出に向けた取り組みについて議論していくことを確認した。

▼未来へつなぐまちづくり

(川端委員長、廣瀬副委員長、木戸屋、白崎、松本、廣田、野村、畑中)

中部縦貫自動車道の進捗(しんちよく)状況等について

大野・大野東区間の真名川橋下部工事に着手し、大野油坂道路の用地の取得についても、全て完了したとのこと。



真名川橋付近 (現在)

道の駅越前おおの荒島の郷(さと)整備の推進について

建物の基礎工事のほか、カヌー池などの整備が着々と進んでいることを所管調査でも確認した。今後、建物本体の鉄骨組み立て工事、設備工事を行い、令和2年度内の完成を目指すとのこと。

◎委員からの主な意見

福井県の東の玄関口に位置することから、県内の海産物なども販売すること、道の駅越前おおの荒島の郷(さと)へ行けば海産物も購入できると評判になり、多くの集客が期待できると思われるので考慮されたい。

◎委員からの主な意見

中部縦貫自動車道の日も早い供用開始を迎えるためには、予算確保と順調な工事の進捗が最重要課題であることを念頭に置いて、今まで以上に、国等に対し積極的に強く要望されたい。



道の駅越前おおの荒島の郷(さと)完成イメージ図

●●● 高校生議員が市議会議員に質問 ●●●

初めての

「大野市高校生議会」を

開催しました。



大野市議会では、市民に開かれた議会を目指して議会の活性化に取り組んでいます。

その一環として次代を担う若者に市政や議会への関心を深めてもらうため、また公職選挙法改正により、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことから、令和2年1月27日、市議会ですべての高校生を対象とした模擬議会「大野市高校生議会」を開催しました。

大野高校と奥越明成高校の2年生女子、8人が高校生議員として出席し、市議会議員18人が理事者役となり答弁いたしました。

本会議開会前には、議会運営委員会と同様に議事日程や役割分担の確認を行いました。

また、高校生議員に電子採決を体験してもらうため、日程第3、会期の決定は、電子採決で行いました。

高校生議会の様子は、議場内モニターや庁内テレビにも映し出されました。

議場の傍聴者も22人来られています。

内容は、次のとおりです。



【議事日程】

- ・大野市民憲章の唱和
- ・大野市教育理念の唱和
- 日程第1 議席の指定
- 日程第2 会議録署名議員の指名
- 日程第3 会期の決定
- 日程第4 高校生議員質問
- 日程第5 大野市議会議長講評

【質問内容】
大野高校



高校生議員の質問

◎水について
Q 井戸枯れや新たな問題が起きた状況に備えて、どのような活動を行っていますか。



大野市民憲章唱和

A 地下水の量と質をしつかりと守ることが大切。大野市では時代に即した新しい「水循環」の計画を策定中です。水を使う者として、時代に即した最低のルール作りをすることも必要であると考えます。

人間は、自然に謙虚になり、自然と共存することを本市の宝である地下水から学び、この地下水を将来世代に残していくためにも、これからを担う皆さんとともに考えていきたいと思えます。



市議会議員の答弁

奥越明成高校

◎大野市の福祉について

Q 介護士の不足により、介護士一人にかかる負担が大きくなっていますが、負担を減らす取り組みは行っていますか。

A 介護士など介護職の負担の軽減と将来にわたって介護に携わる人材の確保に努めていくことは、介護保険制度を運営していく上で重要な課題です。これまで以上に県や各事業所と連携しながら、日々変化する現状把握に努め、事業所への支援とともに、国への要望も行っていくことが重要であると考えています。



高校生議員の質問

介護職によるサービスに留まらず、日常生活における小さな困り事など地域で支え合えるような体制づくりにも努めていかなければならないと考えています。



高校生議員の皆さまお疲れさまでした

前回事（第209号）において、記事に一部誤りがありましたので深くお詫び申し上げます。訂正いたします。

【訂正箇所】

14 上段左方、中部縦貫自動車道の進捗（しんちよく）状況について
誤「下唯野トンネルが貫通し」 正「下山トンネルが貫通し」

新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書の提出

新型コロナウイルスの感染が拡大し、その収束が見込まれないという事態を受け、令和2年4月8日、大野市議会は、感染拡大を防止し、市民の生命と健康、生活を守るため、石山大野市長に対して要望書を提出しました。

その内容は次の6項目です。



- 1 国の動向を適時、迅速に把握し、県や関係機関との連携、協力のもと、市民間での無用な混乱や誤解、風評被害が生じないように、市民へも正しい情報を適時、迅速に提供すること。
- 2 市内において入手困難となっているマスク等の配布については、平等かつ迅速に行っていただくこと。
- 3 新型コロナウイルスにより、影響を受けている各種事業所などの実態を適時把握し、対応に苦慮する事業者への各種支援制度の周知を徹底するとともに、その相談・支援体制を充実させること。
- 4 園児や児童・生徒の安全確保と精神的ケアに努めること。
- 5 感染者とその家族、濃厚接触者のプライバシー保護と精神的なケア、並びに完治後の孤立化防止への対応策を検討すること。
- 6 新型コロナウイルス感染症対策を実行するための必要な予算措置を講ずること。

新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて（市民の皆さまへ）

4月17日、国は「緊急事態宣言」対象地域を全国に拡大しました。

この難局を市民の皆さまとともに、力を合わせて乗り越えていけたらと存じます。ご不便をおかけしますが、さらなる感染拡大を防止するため、引き続き、不要不急の外出や、会合・会食(接客を伴う飲食店の利用を含む)を絶対に避けるよう何とぞご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

大野市のホームページ「新型コロナウイルス関連情報」で商工関係 農林業関係 税務関係 公共料金関係などの関連情報をお知らせしています。

QRコード



大野市では、市民の皆さまの不安解消のため、新型コロナウイルス感染症についての電話相談窓口を設置しています。

【対応日】 平日、土・日、祝日

【相談窓口】 市役所健康長寿課

【電話番号】 65・7333

【対応時間】 8時30分～17時15分

※感染を疑う症状のある方は、まずは福井県奥越健康福祉センター（相談窓口、帰国者・接触者相談センター ☎66-2076）にご相談ください。

編集後記

新型コロナウイルス感染症拡大で、緊急事態宣言が発令されました。

ご不便なこともおありでしょうが、この難局を皆さまとともに力を合わせて乗り切っていきたいと思えます。

私は、感染予防対策をしっかりと整え、3密にも十分に気をつけて、たまには近所を散策して健康保持に努めています。

さて本号から編集委員会のメンバーが変わりました。新たな体制で、皆さんに読んでいただけるよう、より分かりやすい紙面づくりに努めてまいります。

（座長 野村勝人）

議会だより編集委員会
委員

廣瀬 浩司

木戸屋八代実

廣田 憲徳

野村 勝人

高岡 和行

※次回は、7月下旬の発行を予定しています。